

1. 基本情報

評価対象年度 (令和4年度)

施策コード	214		施策名	社会保険の安定的運営
将来像	2	健幸でともに支え合うまち(「支え合い」の分野)		
まちづくりの基本目標	21	ともに支え合って生活するまち		
主担当部	生涯健康部		主担当課	保険年金課

2. 施策の方向

10年後の姿	社会保険制度への理解と協力が進み、医療保険や年金などの制度が健全に運営されることで、市民が安心して暮らしています。			
施策の方向性	1	医療費の適正化や財政基盤の強化に取り組みます		
	2	市報やホームページなどを活用し、社会保険制度の周知に努めます		

3. 構成事業の状況

(単位:千円)

事務事業名	施策の方向性	担当課	令和4年度決算額
一般事務事業	1、2	保険年金課	25,103
医療費通知事業	1、2	保険年金課	1,214
特定健康診査・健康チャレンジ事業	1	保険年金課	83,380
後期高齢者保健事業	1	保険年金課 介護保険課 健康推進課	106,519
総事業費(施策の合計)			216,216

4. まちづくり指標

指標情報					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
①	名称	ジェネリック医薬品利用率			目標値	81.0	81.4	81.6	81.9	82.0
	説明	健全な国保事業運営に必要である	単位	%	実績値	80.9	81.2			
	抽出方法	後発医薬品の数量÷(後発医薬品のある先発医薬品の数量+後発医薬品の数量)			達成率	99.9%	99.8%			
②	名称	国民健康保険税現年度収納率			目標値	94.5	95.0	95.5	95.5	95.5
	説明	健全な国保事業運営に必要である	単位	%	実績値	95.3	95.2			
	抽出方法	現年賦課分の収納額÷調定額			達成率	100.8%	100.2%			

5. 評価(令和4年度実績に対する)

評価基準	評価※	評価理由
投入財源・成果(「3. 構成事業の状況」「4. まちづくり指標」)に対する評価	総合評価(成果、投入財源等を総合的に評価) 維持	<ul style="list-style-type: none"> ●国民健康保険制度においては、被保険者間の負担の公平性の確保や、毎年、一般会計から多額の法定外繰入をしなければ財政運営できないという構造的な課題がある。 ●被保険者の高齢化や医療技術の高度化等による一人当たりの医療費は増加し続けており、今後もこの状況はさらに進み、これらを支える国保財政の健全な運営は更に厳しくなることが予想される。 ●国保財政の健全な運営を図るため、財政健全化計画に基づき、国民健康保険税の税率改定を実施し、令和4年度分から適用した。 ●被保険者の方が、いつでも安心して質の高い医療を受けることが出来ている。 ●制度運営の健全化を図っていくため、レセプト等の点検や医療費通知等を実施して医療費の適正化事業を推進した。 ●ジェネリック医薬品利用率は、ジェネリック医薬品差額通知の送付や希望シールの配布等を継続して実施したことにより、国が示す目標値を達成している。 ●社会保険制度の適正な運営のため、国民健康保険・後期高齢者医療・国民年金の手続き時等に各制度のパンフレットの配布や市ホームページ、市報での情報発信など、それぞれの制度の周知に努めた。 ●国民健康保険税の納付においては、様々な収納対策による収納率向上に取り組み、国保事業運営に必要な財源の確保を図った。

※順調「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が順調に推移している
維持「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗に一部課題がある
停滞「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が遅れている

6. 施策を取り巻く環境

令和4年度からの 変更点	いわゆる団塊の世代が全員75歳以上となる2025年までは、一人当たり医療費の更なる増加は必至の状況である。社会全体で子育てを支援する仕組みとして、後期高齢者への保険料負担(出産育児一時金名目)が今後実施される。
-----------------	---

7. 施策を進める上での課題

①	<p>施策を進める上での課題 国民健康保険の制度運営にあつては、財政運営の安定化や事業運営の効率化を目的として市区町村とともに東京都が保険者として事業運営をしているが、一般会計からの多額の法定外繰入をしなければ財政運営できないという厳しい状況が続いている。</p> <p>課題に対する令和6年度以降の取組 国民健康保険の構造的課題を解決していくため、国・東京都からの公費負担割合の拡大や更なる低所得者対策の実施を要望していく。 令和4年度から導入された子どもに係る均等割額の軽減措置の充実及び対象範囲を拡大することを要望する。 国民健康保険税の見直しを実施し、国保財政の健全な運営を図る。</p>
②	<p>施策を進める上での課題 医療の高度化・被保険者の高齢化への進展により、年々増加する医療費等に対応していくため、医療費の適正化や保健事業に取り組む必要がある。</p> <p>課題に対する令和6年度以降の取組 ジェネリック医薬品の普及啓発、特定健診・特定保健指導や重症化予防等の取り組みの着実な推進による保険給付費の抑制やその他適正化に向けた取り組みを実施する。</p>
③	<p>施策を進める上での課題 国民健康保険税の収納率の向上には、未納者への早期対応など適切で実効性のある収納対策の実施が必要となってくる。</p> <p>課題に対する令和6年度以降の取組 国民健康保険税の収入確保においては、納税しやすい環境づくりに努め、滞納整理を引き続き実施する。</p>